

公演時期：通年

編成：ミュージシャン 5名

Yasuaki Shimizu & Saxophonettes

# 清水靖晃 & サキソフォネッツ



〈演奏予定曲〉  
 J.S.バッハ - 無伴奏チェロ組曲  
 J.S.バッハ - フーガの技法  
 エチオピア伝統曲  
 「テュ・セマン・ハゲレ」  
 「エンデンネ・ベルレンニユ」  
 5音音階を基にした清水靖晃  
 オリジナル楽曲  
 (アルバム「ペンタトニカ」より)

J.S.バッハ - ゴルトベルク変奏曲  
 (+コントラバス×4追加)

## クラシック音楽の垣根を超えて 官能的なサクソス五重奏で聴くJ.S.バッハ。 日本を代表する音楽家、清水靖晃が率いる サクソフォン・クインテット。

清水靖晃により、1983年に開始されたソロプロジェクト。同年、アルバム『ロトム・ア・ペカン(北京の秋)』を皮切りに、『ラテン』(91年)、『タイム・アンド・アゲイン』(93年)を経て、『チェロ・スウィーツ 1.2.3』(96年)、『チェロ・スウィーツ 4.5.6』(99年)に至る。『チェロ・スウィーツ』は、J.S. バッハの『無伴奏チェロ組曲』を、テナーサクソフォンの為に編曲、録音するという世界初の試みで、クラシックというジャンルの垣根を越えて高い評価を獲得。ミニアルバム『バッハ・ボックス』(97年)では、レコード大賞企画賞を受賞。バッハ・プロジェクトにおいては、清水が創案した「バッハ／サクソフォン／スペース」という三角関係コンセプトのもと、地下採石場や美術館など特殊な空間に着目した録音、パフォーマンス

スを精力的に行う。そして2006年、4人のサクソフォン奏者、林田祐和、江川良子、東涼太、鈴木広志を加え、記念すべき第一歩として、五音音階作品を収録した『ペンタトニカ』(07年)を発表。これらの作品を携えた演奏活動も精力的に、日本はもとよりモスクワ、キューバ、香港での海外公演も大成功を収めた。2010年、東京・すみだトリフォニーホールの委嘱によってサクソフォン5本とコントラバス4本の為に編曲・初演した、バッハ『ゴルトベルク変奏曲』は、アルバム『ゴルトベルク・ヴァリエーションズ』(15年)に結実。テレビ東京番組「東急ジルベスターコンサート2018-2019」では、渋谷駅再開発中の地下大残響空間から、新年におくる前奏曲、J.S.バッハ『無伴奏チェロ組曲1番：プレリュード』を演奏し、視聴者を釘付けにした。

### 清水靖晃 Yasuaki Shimizu

#### テナーサクソフォン

作曲家／サクソフォン奏者／音楽プロデューサー。1978年にアルバムデビュー。実験的ロックバンド「マライア」を中心に「うたかたの日々」(83年)ほか5枚のアルバムを発表。同時に、多彩な音楽表現の可能性を探るべく「案山子」(82年)などのソロアルバムをリリースする。83年にサクソフォネッツ名義のプロジェクトを開始。85年から91年にかけては、パリとロンドンに活動拠点を移して3枚のアルバムを制作し、数多くのコンサートも行った。90年代後半、上述のバッハ・プロジェクトに着手。また自作品のみならず、プロデューサー、作曲家、編曲家としての活動範囲も多岐に渡り、多種多様なジャンルの楽曲制作に関わる。テレビ、映画音楽の作曲も数多く、NHKドラマ『透明なゆりかご』(18年)、『空白を満たささい』(22年)、久保田直監督『千夜、一夜』(22年)など。第86回米アカデミー賞にノミネートされた、ドキュメンタリー映画『キューティー&ボクサー』(13年)では、「シネマ・アイ・オナーズ」オリジナル作曲賞を受賞。

### 林田祐和

#### Hirokazu Hayashida

#### テナーサクソフォン

東京芸術大学卒業、同大学院修了。第22回日本管打楽器コンクール第1位。東京佼成ウインドオーケストラ団員、クローバー・サクソフォン・クワルテットのメンバー。東京芸術大学、武蔵野音楽大学、洗足学園音楽大学、各非常勤講師。

### 東涼太 Ryota Higashi

#### バリトンサクソフォン

東京芸術大学を首席で卒業。同大学院修士課程修了。これまでにソリストとして、東京ニューシティ管弦楽団、藝大フィルハーモニアとコンチェルトを協演。在学中より、チャンキトルネエド、カルテットスピリタスのメンバーとして活動。東京中低域、大友良英スペシャルビッグバンドなどにも参加し、ソロ活動やオーケストラへの参加のほか、様々な形態で音楽活動を展開している。ピュッフエ・クランボン・ジャパン専属講師。洗足学院音楽大学講師。

### 江川良子 Ryoko Egawa

#### テナーサクソフォン

東京芸術大学卒業、同大学院修了。ノナカ・サクソフォン・コンクール第2位。ソロ、室内楽等の活動のほか、Saxophone Quartet athena、大友良英スペシャルビッグバンド、code "M"、Ensemble Otto Voci など様々なアンサンブルに参加し、国内外でのコンサートやCDリリース等にも参加。洗足学園音楽大学非常勤講師。  
http://ryokoegawa.com

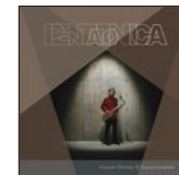
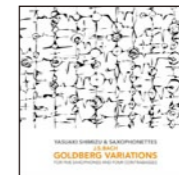
### 鈴木広志 Hiroshi Suzuki

#### バリトンサクソフォン

東京芸術大学卒業。サクソフォン奏者、作曲家としてクラシック、現代音楽、ポップス、ジャズ、ワールドミュージックの世界で活動する。ホールや美術館でのコンサートのプロデューサーや、CD、テレビ、CM等のレコーディング参加も多数。リーダーを務めたチャンキトルネエドのほか、東京中低域、大友良英スペシャルビッグバンドなどでも中核を担う。  
http://suzuki-hiroshi.com

### 主要アルバム

- 『ゴルトベルク・ヴァリエーションズ』(2015年)
- 『ペンタトニカ』(2007年)
- 『チェロ・スウィーツ 4.5.6』(1999年)
- 『バッハ・ボックス』(1997年)
- ※第39回日本レコード大賞企画賞受賞
- 『フロム・ザ・チェロ・スウィーツ』(1996年)
- 『チェロ・スウィーツ 1.2.3』(1996年)



### ライブ・パフォーマンス

- 2018 テレビ東京「東急ジルベスターコンサート2018-2019」渋谷駅地下広場／Bunkamuraオーチャードホール、東京  
[参考リンク [https://fb.watch/ixl\\_Far8AM/](https://fb.watch/ixl_Far8AM/)]  
「Better Days Night」Better Days レーベル 40周年記念ライブ 新宿ピットイン、東京
- 2017 清水靖晃&サクソフォネッツ スパイラルホール、東京
- 2016 「ゴルトベルク・ヴァリエーションズ」w/コントラバス カルテット サマンカホール、岐阜  
「あつという間」サクソフォネッツ 10周年記念公演 スーパーデラックス、東京
- 2015 「セッション」NHK FM番組公開収録 NHKふれあいホール、東京  
「ゴルトベルク・ヴァリエーションズ」w/コントラバス カルテット 東京オペラシティ、東京
- 2013 清水靖晃&サクソフォネッツ ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡  
「清水靖晃&サクソフォネッツin鎌倉」w/ゲスト：波多野睦美(メゾソプラノ) 鎌倉芸術劇場、神奈川
- 2011 「zig-BACH-zag-PENTA」三鷹市芸術文化センター、東京  
「フリークエンシー・ホンコン」香港城市大学、香港
- 2010 「ゴルトベルク変奏曲」w/コントラバス カルテット すみだトリフォニーホール、東京  
「ファッションカンタータ」ファッションショーイベント、客演 旧嵯峨御所大覚寺 門跡、京都
- 2009 清水靖晃&サクソフォネッツ アマデオ・ロダンシアター、キューバ
- 2008 「雄呂血」フィルムコンサート w/ロイヤル・アートレス・オーケストラ 明治神宮 神宮会館、東京  
清水靖晃&サクソフォネッツ グネーシン音楽アカデミーホール・モスクワ  
清水靖晃&サクソフォネッツ 富士山六合目 星観荘、山梨
- 2007 清水靖晃&サクソフォネッツ 府民ホールアルティ、京都  
「ペンタトニカ」w/ゲスト 康本雅子(ダンス) 草月ホール、東京/フェニックスホール、大阪  
清水靖晃&サクソフォネッツ 渋谷クラブクアトロ、東京
- 2006 「あつという間」 w/ゲスト 康本雅子(ダンス) スーパーデラックス、東京

### テレビ・サウンドトラック

- 2013 「キューティー&ボクサー」楽曲提供  
アルバム『ペンタトニカ』収録曲を使用 | ドキュメンタリー映画、アメリカ
- 2009 「情熱人 松方幸次郎」楽曲提供 アルバム『ペンタトニカ』収録曲を使用  
ドキュメンタリー番組、テレビ朝日
- 2007 「マテマティカ2」作曲：清水靖晃 演奏：清水靖晃&サクソフォネッツ  
テレビ番組シリーズ、NHK



企画・制作・招聘: 株式会社プランクトン

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-14-12 イガリビル2 三階

Tel: 03-6273-9305 Fax: 03-6273-9306

メール: info@plankton.co.jp WEB: <https://plankton.co.jp>